

スクールガードに参加して

小金原九丁目町会長

すずき ひでお
鈴木 英夫

17年12月広島・栃木・京都等に子どもに関わる事件が相次ぎ、全国的にも、地域パトロールの必要性が叫ばれていました。

小金原におきましても、学区ごとに対策の検討が行われ、貝の花小は「児童の登下校の安全対策について」（現在は学校安全地域協力会議）会議が開かれ、「定期的情報交換」「地域での登下校時のパトロールの実施」が確認されました。栗ヶ沢小も平成19年春「スクールガード連絡会」が発足、これを受けパトロールが各所で行われるようになり、さらに定期的にパトロール参加者による情報交換も開かれています。

9丁目町会も有志によるパトロールからはじまり、平成19年3月に本格的なボランティアパトロールを募り、当初は16名が参加。健康上の事情から現在は12名の皆さんがそれぞれ可能な条件のもと、登下校に毎日参加されている人、毎日登校のみの人、学校の要請で毎週水曜日下校時の人、加えて保護者の役員も参加されています。

最初は、子どもとあいさつするのも照れ臭く、お互いによそよそしい雰囲気でしたが、今は交流もさかんになり、大きな声であいさつするのが自然な状態になっています。

また、子どもの日々の様子がわかり、家庭での保護者との接触状態もわかることがあります。中には、パトロール中お子さんが作ったケーキを贈られた人もいます。

こうしたパトロールの取り組みによって、地域と学校が身近となり、子ども達とのふれあい、若い保護者の皆さんとの話し合うきっかけが出来、少子高齢化が進む中、やさしい支えあう町づくりに大切な機会を与えてくれたと思っています。